

いよいよ明日から夏休みですね。3年生は進路実現に向けての勉強中心の生活、1・2年生は部活動の練習や大会、遠征で他県に行く部もあるようです。今年の夏は規制が緩和され3年ぶりに各地で花火大会や夏祭り等のイベントが開催されたり、すでに海開きをしている海水浴場もあるようです。海のレジャーを楽しむ際は十分注意してください。例年海や川での水の事故も起きています。県内でも先日高校生と会社員の男性が遊泳禁止区域で遊泳し、会社員の方が18歳の若さで命を失うという痛ましい事故がありました。遊泳禁止区域には意味があります。楽しいはずの思い出が悲しい思い出にならないよう高校生としての自覚を持った行動をしてほしいと思います。また、宮城県内のコロナウイルス感染者は急拡大し、感染者数は2000人を超え過去最多を更新しています。夏休み中も感染対策をしっかりと行い健康に気をつけ充実した毎日を過ごしてください。

知らないと怖い離岸流！ ～遊泳禁止区域の意味を知ろう～

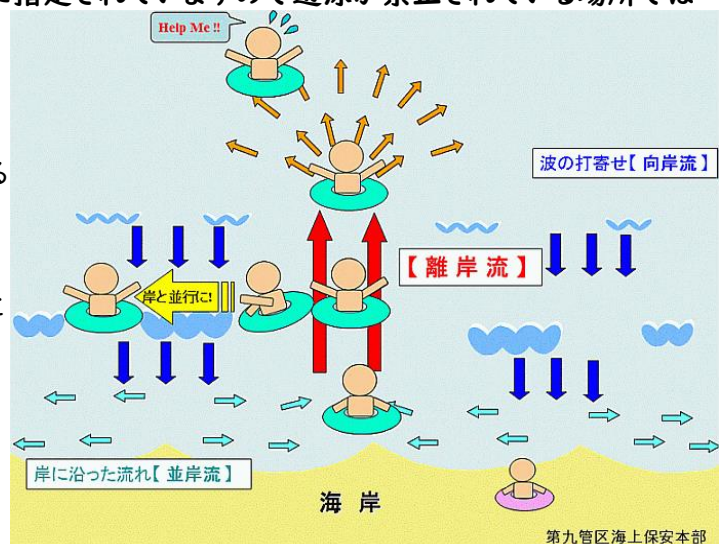
みなさんは「離岸流」という言葉を知っていますか？離岸流とは、海岸に打ち寄せた波が沖に戻ろうとする時に発生する強い流れのことです。波は沖から海岸へ打ち寄せますが、海水はどんどん岸に貯まるので、沖に戻ろうとします。この時、岸から沖の方へ向かって一方的に流れる速い流れのことを離岸流と呼びます。離岸流は、一旦発生した後、1ヶ月近く同じ場所で発生し続けることもある一方、発生から2時間後には位置を変えることもある気まぐれな性質を持っています。離岸流に流されると、知らず知らずのうちに沖まで流されてしまうことがあるので注意が必要です。離岸流が発生する場所の多くは遊泳禁止区域に指定されていますので遊泳が禁止されている場所では絶対に遊泳しないでください。

もしも離岸流に流されてしまったらどうする？

- 慌てず落ち着く（パニックにならない）
- 可能であれば、周りの人に流されていることを知らせる
- 岸と平行に泳ぐ（岸に向かって泳ぐ）
- 沖向きの流れを感じなくなったら、岸に向かって泳ぐ
- 泳ぎに自信がない場合は、無理に泳ごうとせず、浮くことに専念する

楽しい海水浴をするために注意すること

- 体調が悪い時には海に入らない
- 当日の天気予報を確認し、無理な日程で泳がない
- 波が高いときは、海に近づかない
- 遊泳禁止区域では泳がない（監視員やライフセーバーがいる海水浴場を選ぶ）
- 複数人で行動し、砂浜で休憩中の人は、海に入っている仲間を注意してみるようにする



※流されている人を発見したら海上保安庁118番、または消防119番に通報してしてください！

夏休みは治療のチャンス



今年度の健康診断結果一覧を三者面談時に全校生徒へ配付しています。また、今年度の検診で所見があった生徒には受診勧告書（健康診断結果のお知らせ）も検診終了後配布しています。コロナウイルスが心配で、受診に不安を感じている人もいるかもしれませんが、病院の方でもしっかり感染対策をされているようです。心配であれば受診する前にかかりつけ医に電話をしてみてください。特に3年生の視力・色覚等は就職の際に影響がでる場合もありますので夏休み中に受診して下さい。

★夏休み中の保健室の使用について★

養護教諭が不在の時には、保健室は閉室となります。普通科職員室に救急箱、各科の職員室には簡易救急バックがありますので、担任の先生や科の先生、部活動顧問の先生に対応してもらって下さい。また、体調不良はケガや熱中症に繋がります。朝から体調不良の場合は、無理をせず自宅で休養しましょう。

★夏休み中登校する際は、必ず保険証を持参し保護者と連絡を取れるようにして下さい。